

平成 28 年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時：平成 28 年 6 月 24 日（金） 13:00～16:00（12:00 受付開始）

会場：小田原市民会館 本館 3 階小ホール

■開会挨拶

13:00-13:05 温泉地学研究所長 里村幹夫

■口頭発表(括弧内は発表者)

(1) 13:05-13:25 湖尻潜在カルデラ構造で湧出する温泉の特徴（菊川城司）

箱根火山中央火口丘西側の湖尻潜在カルデラ構造とその周辺で湧出する温泉に関して、成分などの特徴から生成機構について考察した結果を報告します。

(2) 13:25-13:45 芦ノ湖の水収支の再検討（板寺一洋）

芦ノ湖の水収支については、1970 年代と 2000 年代に検討が行なわれています。今回、当時よりも詳細なデータにもとづき、芦ノ湖に関わる水の出入りについて検討したので、その結果について報告します。

(3) 13:45-14:05 微動探査による足柄平野自噴域の地下構造（宮下雄次）

平成 26-27 年度に足柄平野 250 地点で実施した極小アレイ微動探査をもとに、自噴域の被圧地下水帯水層構造について検討した結果について報告します。

14:05-14:25 休憩

(4) 14:25-14:50 2015 年箱根火山活動の概要（本間直樹）

昨年 4 月末頃から箱根山で火山活動が活発となり、6 月には大涌谷でごく小規模な噴火がありました。観測された火山活動の概要とその際にとられた防災対応について解説します。

(5) 14:50-15:10 干渉 SAR データから推定される箱根火山 2015 年噴火に伴う開口割れ目（道家涼介）

2015 年 6 月末に大涌谷で発生した水蒸気噴火の際、大涌谷から南東方向に延びる板状の割れ目（開口割れ目）が生じました。この開口割れ目について詳細な変動源モデルの推定を行った結果について報告します。

(6) 15:10-15:30 地動ノイズから火山内部の変化を診る（行竹洋平）

常時微動（地動ノイズ）をもとに地震波干渉法解析により箱根火山活動に伴う地震波速度変化を検出したのでその結果を報告します。

(7) 15:30-16:00 神奈川県と静岡県地震防災への取組み（里村幹夫）

静岡大学教員として関わってきた静岡県の地震対策と、温泉地学研究所長として関わっている神奈川県の地震対策の取り組みについて説明し、地震による被害を小さくするために神奈川県民としてどのように取り組むべきかを考えます。